

2010年1月12日

ランクセスのポリエステルを使用した立体回路部品(MID)が 「MID 産業賞」を受賞

～ LDS 法採用のステアリングホイールを評価 ～

ランクセス株式会社

特殊化学品メーカーのランクセス(LANXESS)は、同社のポリエチレンテレフタレート(PET)とポリブチレンテレフタレート(PBT)のアロイを基材とする「ポカン®(Pocan®) DP T 7140 LDS」を使用しているシステムサプライヤーのTRWオートモーティブ システムズ社(TRW Automotive Systems GmbH、本社:ドイツ アシャッフエンブルク)の立体回路部品(Molded Interconnect Device、以下 MID)が、「3次元MID研究協会(Forschungsvereinigung 3D-MID e.V.)」の「2009年 MID産業賞」を受賞したことを発表しました。今回受賞したTRWオートモーティブ システムズ社のMIDは、左右どちらの手でも操作可能なスイッチを備えたステアリングホイール・モジュールで、BMW社の新型「Z4ロードスター」に搭載されています。同賞は2009年11月10日から13日までドイツのミュンヘンで開催された国際見本市「プロダクトロニカ2009」において授与されました。

このスイッチ組立部品は LDS 法(Laser Direct Structuring / レーザー照射による直接立体回路形成技術)を使用した、MID としては初めて量産された大型自動車部品です。ランクセスの特別仕様のポリエステルを使用した LDS 法により、部品の小型化、回路のより柔軟なレイアウト設計、構成部品の高機能化、軽量化が可能になります。また、LDS 法を使うことにより組立部品がより少なくて済むため、製品構造が簡略化でき、例えば、前述のスイッチには回路基盤やケーブルが不要です。

自動車工学における MID の大きな可能性

多くの機械的機能および電氣的機能は MID に統合することができるため、自動車の電気部品において大きな可能性を秘めています。回転変換器やセンサーカバー、起動装置、制御ボックス、ステアリングホイール・モジュール、施錠システムの回路部品などは MID 技術を利用して製造することができます。LDS 法は特に MID 製造において革新的な方法です。例えば、LDS 法を使用することで 3 次元プラスチック回路部品に電動回路を容易かつ低コストで追加することができます。柔軟なレイアウト変更も可能となり、さらにはエッチング液あるいは酸洗液を使用する必要がありません。LPKF-LDS 法*は、LPKF レーザー・アンド・エレクトロニクス社によって開発されました。

鉛フリーはんだ付けプロセス用ポリエステル

「ポカン DP T 7140 LDS」は、LDS 法での部品成形に特化したポリエステルです。射出成形からレーザー加工、メッキ、それに続く必須のはんだ付けまで、LDS 法のあらゆる過程で応用されています。ポカンの耐熱グレードの大きな利点は、250 という高い荷重たわみ温度です。そのため気相での鉛フリーはんだ付けに適しています。様々な LED、抵抗器、蓄電器、SMD(表面実装部品)などは、2 個の制御スイッチに 235 で気相はんだ付けされます。

「MID 産業賞」は MID 生産技術を促進し、その存在感を高めることを目的として 2 年に 1 度、MID 技術の推進に欠かせない起動力となるような傑出した革新的部品や処理加工を実施する会社に授与されます。

*LPKF-LDS は、LPKF レーザー・アンド・エレクトロニクス AG 社の登録商標です。

#

このリリースは、ドイツ・レバークーゼンで2009年10月11日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

このリリースの原文(英語)は、以下のURLにてご参照下さい。 <http://www.press.lanxess.com>

ランクセスについて

ランクセスは、世界23カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2008年の総売上は65億8000万ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約 14,600人、世界中に46の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスについての詳細は、同社URLにてご確認下さい。 <http://www.lanxess.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先:

共同PR株式会社 第一業務局 時松、田中

TEL : 03-3571-5326 FAX : 03-3574-0316

lanxesspr@kyodo-pr.co.jp

免責について (Forward-Looking Statement):

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なってくる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

(2009-00194J)